ときめくエコデビュー

平成28年度（2016年度）

おきがる環境講座
報告書

平成２９年２月２７日

特定営利活動法人えどがわエコセンター

実施団体　イノシシ倶楽部

平成２８年度（２０１６年度）
おきがる環境講座
報告書

目次

1.はじめに

2.おきがる環境講座概要

3.活動報告

はじめに・・

知って・学んで・実践！　広がる！　環境学習の輪

「おきがる環境講座」運営責任者
特定非営利活動法人えどがわエコセンター
副理事長　大和地 弘一

１３年目を迎えた本講座は、地域やエコセンターで活動するための知識と必要なノウハウを基礎から段階的に学べる講座として、１２講座（オープニング講演会、基礎６講座、ステップアップ４講座、リーダー・仲間づくり１講座）の開催を目指した。一昨年、昨年と実施した小学校、中学校学向けの講座を出前講座（参加者数：150 名）に移行したこともあり、計画の 400 名に対し参加者数は 246 名と計画を下回る結果となった。

近年、受講者が減少傾向にあり特に、リーダー・仲間づくり講座は、昨年、今年とも応募者が少なく講座中止となり残念であった。今後、プログラム名称、内容や募集方法が課題となる。

企画・運営面では、イノシシ倶楽部による運営は、組織的な体制が定着しているが、運営面で新たなメンバーの入会が望まれる。また企画面では新規プログラムの導入において、区外を含め他の団体との連携を進めていきたい。

講座開催に際しご協力頂いた江戸川区・環境部、パートナーシップ事業者等、イノシシ倶楽部やエコセンター事務局の方々のご尽力に感謝申し上げます。

（Ⅰ）プログラム

- オープニング講演会では、江戸川区民の関心事である防災を含め、江戸川区危機管理室に講演をいただいた。
- ４月から開始された電力自由化に対応し、電力小売業者の選びかたについての講座は好評だった。
- 太陽光発電と農業のコラボレーションで実施したサツマイモ堀は、実体験してもらい有意義だった。

（Ⅱ）企業や他団体等との連携

企業は景気に左右されＣＳＲ活動は低調で花王（株）のみであったが継続して呼びかけをして行きたい。今年度は江戸川区、子ども未来館、日本ソーラーシェアリング協会、NPO 横浜 LCA 環境教育研究会、環境エネルギー総合研究所との連携ができた。

（Ⅲ）人材育成

“リーダー仲間づくり講座は”エコセンターで活動する人材育成として位置付けているが、今年度は、応募者が少なく育成が出来なかった。募集を一般区民にプラスして総合人生大学や他団体と連携し参加者増につなげたい。

（Ⅳ）受講者数

計画４００名に対し、小中学校向けの講座を出前講座へ移行したため一般受講者の参加で２４６名と減少したが、一般受講者は昨年度（218 名）と比較し増加した。

平成２８年度（２０１６年度）おきがる環境講座　概要

おきがる環境講座は、オープニング講演会、基礎からステップアップしてリーダー仲間づくり講座へと無理なく段階的に学べ、お好きな講座を選択できることを特徴としています。

オープニング講演会　地球環境と災害を考える

30 年以内に発生すると予想される大地震や地球温暖化で発生が予想される超大型台風への備えを学びます。

「大規模災害から身を守るために」～熊本地震から学ぶ災害への備え～

■講師：淺川賢次（江戸川区危機管理室長）

基礎編　環境について学びたい方へ（６講座）

これから環境について学びたい方へ。
エコセンターや区が取組でいる活動や事業、講演会、体験教室やバス見学会などに参加しましょう。

第１回　夏休み親子で海と地球の不思議にふれてみよう～深海探査船「しんかい 6500」模型や深海生物を見学～
第２回　親子で原っぱのいきものをさがそう探検隊～都市の限られた環境の中で生きる動植物を観察します～
第３回　花王すみだ事業所見学会　～花王の環境に配慮したモノづくりと清浄文化学びます～
第４回　深刻化する異常気象　～猛暑・局地豪雨・大型大風で発生する災害への対応は～
第５回　親子で太陽光発電と農業のコラボを体験　～太陽光発電装置の下でサツマイモ堀りをします～
第６回　環境問題の今　～江戸川総合人生大学・北野学長の授業に聴講生として受講します～

ステップアップ講座　行動したい方への第一歩（４講座）

環境問題に興味を持っていてこれから行動したい方へ。　イベントに参加したり、見たり、聞いたり、体験しながら積極的な関わりへと「ステップアップ」します。

第１回　夏休み親子で都市型菜園を体験しよう　～都会オフィスビルを彩る植物を見学して挿木を体験します～
第２回　電力自由化とかしこい電気の選び方　～電力をお得に利用するのはどんなプランがあるのかを知ります～
第３回　買い物袋の一生(商品の一生を考える)～日常のお買い物が全てCO_2の排出に繋がっていることを学びます～
第４回　Edogawaごみダイエット挑戦　～江戸川区のゴミを減らす工夫について学びます～

リーダー・仲間づくり講座　レッツ・エコデビュー（連続４回講座）

環境活動への思いを実現させてみたい方、参加者同士の仲間づくりの幅を広げたい方へ、活動するための実践ノウハウを学びます。

第１回　地球環境と異常気象・エコセンター紹介・コミュニケーションのイロハ
第２回　エコについてグループで話し合おう＆発表
第３回　活動している人たちとの話し合い＆修了式と先輩との交流会
第４回　エコ活動イベントへの参加・体験

①オープニング講演会：地球環境と災害を考える

「大規模災害から身を守るために」

～熊本地震から学ぶ災害への備え～

講　師	淺川賢次（江戸川区危機管理室長）
概　要	３０年以内に発生すると予想される大地震や地球温暖化で想定される超大型台風等に備え、江戸川区が進めている防災計画について学びます。
会　場	タワーホール船堀・研修室
対象者	一般
日　時	平成２８年８月８日（月）１８：３０～２０：００
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

江戸川区の複合防災計画、地域特性（7割がゼロメートル地帯といわれる低地等）や熊本地震・過去の水害を教訓に大規模災害の備えについてお話しをして頂き、自分達の住んでいる地域特性について改めて考えさせられた。また、何時、災害が来たとしても日頃からの心構え、自分や家族をどのようにして守るかを考える機会を与えることができ有意義であった。

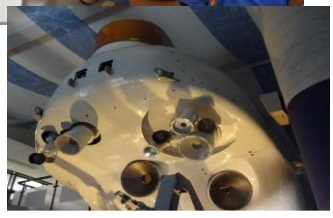
②基礎講座（第１回） 親子で海と地球の不思議にふれてみよう

～深海探査船「しんかい６５００」模型や深海生物標本を見学～

バス見学会

講　師	横須賀海洋科学技術館・はまぎん 子ども宇宙科学館
概　要	横須賀海洋科学技術館では、「しんかい 6500」の実物大模型を中心に、貴重な深海生物標本などを見学し、海の地球環境に及ぼす影響を学びます。はまぎん こども宇宙科学館では、宇宙のふしぎを学びます。
会　場	横須賀海洋科学技術館（横須賀市）、はまぎん 子ども宇宙科学館（横浜市）
対象者	親子
日　時	平成２８年８月２３日（火）８:００～１７:００
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

海洋科学技術館では、子どもが大好きな船や海洋生物の姿を観察・水圧実験に興味を示し、有人潜水調査船“しんかい 6500”の実物大模型に乗船し楽しんでいた。個人でなかなかこられない所なので良い経験を与えることができた。難しいかと心配したが児童なりに学んだようですと保護者から感想があった。 子ども宇宙科学館は、夏休みで交通の便が良いこともあり大変混んでいて宇宙トレーニング体験は待ち状態であったが体験できよい思い出になった。 お昼は持参のお弁当を“海の公園”の芝生での予定だったが、台風の余波で使用出来ず、公園内のレストランもお休みで、休憩室を使うことになり芝生の上で海を見ながら食事ができず残念だった。



③基礎講座（第２回）　原っぱの生きものをさがそう探検隊

現地集合

～都市部の限られた環境の中に生きている動植物を観察します～

講　師	高木嘉雄（江戸川区子ども未来館　自然観察指導員）、斉藤洋一（蜻蛉学会）
概　要	都会の限られた自然の中に生きている植物や動物を、泥まみれになりながら集めた動植物の形や姿を見たり、触ったり、動きを感じたりして、生命の神秘さや不思議さを体験します。また動植物に詳しい先生から、その生態について、また自然の大切さについても学びます。
会　場	小松川第二小学校跡地
対象者	親子
日　時	平成２８年９月１７日（土）１３：００～１４：３０
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター（共催：江戸川区子ども未来館）

昨年に引き続きこども未来館から自然観察指導員の高木さんと蜻蛉学会会員の斉藤さんを迎え自然観察会を実施した。数日前のから雨模様で、当日の実施が危ぶまれたが朝から晴れて実施で来た。今年は、近くの小松川第二小学校へ案内状をだしたことで、２１名の親子の参加者があり、親も子も湿地の中で泥まみれで一心不乱に生き物をさがし捕まえ歓声を上げていた。
専門家の話を聞き、楽しく学ぶことができた一日ではなかっただろうか。
運営の反省として、ふりかえりを書くためのバインダーを沢山、用意するべきであった。

④基礎講座（第３回）花王すみだ事業所見学会

現地集合

～花王の環境に配慮したものづくりと工清浄文化を学びます～

講　師	花王すみだ事業所見学会
概　要	豊かな生活文化を実現するために、より“環境負荷の少ない製品”を、より“環境負荷の少ない方法”でつくりだす取組や清浄文化の歴史について学びます
会　場	花王（株）すみだ事業所
対象者	一般
日　時	平成２８年９月２３日（金）9:30～１２:00
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

４回目を迎えた本見学会は、毎年満足度は高く生活に密着した見学先であることが要因と思われる。清浄文化、花王の歴史、コミュニケーションプラザの３つの展示ゾーンでは、各時代の清浄生活の歴史、花王のモノづくりの歴史、肌や髪の状態を測定できる新製品の特長を知ることができた。化粧品工場では、完全自動化された製造工程や環境を考慮した製品作りに感心したが、環境負荷への取組みの話が少なかったがすこし残念だった。私たちの日常生活の中で使用している製品の製造と歴史を見学でき大変有意義だった。

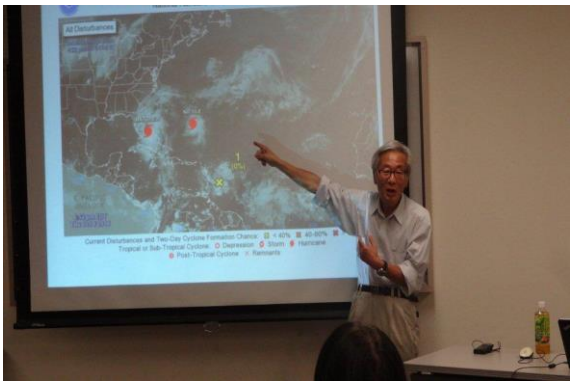
運営の反省として案内状に、集合場所をＪＲ亀戸駅の地図と北口と記載したが、バス来る人にはわかりづらいとの意見があった。今年度は特に足がおぼつかない人もいて何処迄対応するか難しい問題であるが次年度の検討課題としたい。

⑤基礎講座（第４回） 深刻化する異常気象

～猛暑・局地豪雨・大型台風で発生する災害への対応は？～

講　師	村山貢司（気象予報士・（財）気象業務支援センター・専任主任技師）
概　要	地球温暖化がもたらしている異常気象が最近さらに深刻さを増しており、世界各地で猛暑や局地的な豪雨、干ばつで甚大な災害が起きている。本講座で気象予報士から見た地球温暖化と異常気象についての話を聞き、個人が猛暑・局地的豪雨・大型台風から、いかに身を守り備えるかを学びます。
会　場	タワーホール船堀・３０１会議室
対象者	一般
日　時	平成２８年１０月７日（金）１８:30～２０:00
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

異常気象は、大型台風をはじめ様々なかたちで災害を起こしている時期でもありタイムリーな講座であった。内容的もデータを基に、具体的な事例等を上げてお話しされ受講生は熱心に聞き入っていた。地球温暖化がもたらす異常気象についいて理解してもらうことが出来た。また、日頃から防災に対する対策の必要性を実感してもらうことが出来た。４回目を迎えた本講座は、年々異常気象がもたらす災害と 2100 年の気象変動予測は、真実味があり、これを機会に積極的な温暖化防止行動を進めていきたい。



⑥基礎講座（第５回）親子で太陽光発電の下でサツマイモ掘り

～太陽光発電と農業のコラボレーションの体験と石井食品工場見学～

バス見学会

講　師	高澤真(ｿｰﾗｰｼｪｱﾘﾝｸﾞ上総鶴舞　代表)、石井食品工場
概　要	太陽光発電を見学し、その下で育ったイモ堀をすることで農業とのコラボレーション(耕作放棄地を太陽光発電と農業でシェアする)を体験します。そして食の安全と環境保全を実践する工場を見学します。
会　場	・ソーラーシェアリング上総鶴舞（千葉県市原市） ・(株)石井食品　八千代工場　　（千葉県八千代市）
対象者	親子
日　時	平成２８年１０月１５日（土）８：００～１７：３０
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

５月中旬にスタッフで芋の苗付けをしてから５ヶ月間高澤講師のご両親に芋の成長をお願しました。ソーラー発電と農業のコラボにより見事に育ったサツマイモを親子で汗流し、6.8 キログラムを収穫したひともあり大喜び。この体験で芋堀りだけでなく、工作放棄地の有効活用を親子で話し合えたら良いなと期待する。石井食品工場見学では、なじみ深いミートボールの食の安全を考慮した生産工程を見ることができ有意義な見学でした。

⑦基礎講座（第６回）　環境問題の今

～江戸川総合人生大学・北野学長の授業に聴講生として受講します～

講　師	北野大（江戸川総合人生大学学長）
概　要	H２１年度からの江戸川総合人生大学とのパートナーシップ事業は８年目を迎え、今年度も北野学長のわかりやすくユーモアを交えた講座を聴講生として受講する。「地球環境の今」をテーマに、過去から現在に至る地球環境問題を知り、地球環境問題の現状に気づくと共に今後の地球環境を考えます。
会　場	篠崎文化プラザ・講義室
対象者	一般
日　時	平成２８年１０月２６日（水）１０:00～１２:00
主　催	江戸川総合人生大学
後　援	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

講義内容もユーモアに富み直近のＣＯＰ２１パリ協定の話もあり受講者からは大変有意義な講座であったが一部化学の問題等は難しいとの感想があった。これまでは、総合人生大学の共通基礎科目“地球環境を考える身近な行動”の１０講座の第１回目の“環境問題の今（北野学長）”の講座を聴講したが、来年度は、他の共通基礎科目も聴講できるよう総合人生大学・事務局と話を進めていきたい。

⑧ステップアップ講座（第１回） 親子で都市型菜園を体験しよう

～都会のオフィスビルを彩る植物を見学し、挿し木を体験します～

現地集合

講　師	パソナアーバンファーム
概　要	「自然との共生」をテーマに開設されたパソナグループの総合拠点「アーバンファーム」を見学。天井や壁面に80種類以上の果樹や野菜が育ち、ビルの外壁には２００種以上の植物が季節ごとに咲き誇り都会にいながらに春夏秋冬を感じることができる。アーバンファームで育てたカラーリーフで挿木を体験します。
会　場	パソナアーバンファーム（JR東京駅八重洲口徒歩５分）
対象者	親子
日　時	平成２８年８月８日（月）１０：３０～１２：００
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

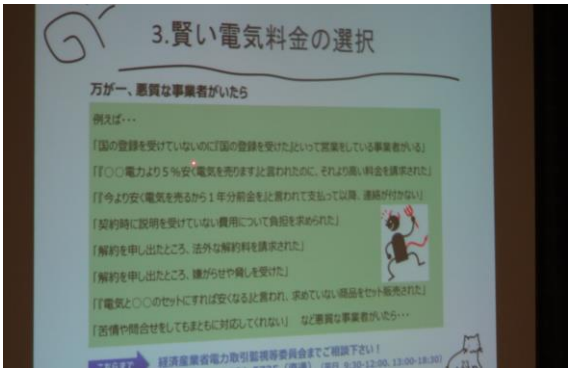
ビルの壁面や屋上に四季折々の植物が育成されており、オフィス内では野菜、植物のいろんな栽培環境を見学することができた。仕事をしながら都会のオアシス気分を味わうことができ、精神のリフレッシュができるようなアイデアが盛りだくさんに感心した。1F のロビーでは青々とした稲の生長が見られ、参加者は大変興味深く見学していたようだ。ワークショップでは、カラーリーフの挿木体験をし、自分で作ったポットを持ち帰り育てる楽しみもできた。参加の親子には、企業の働く環境への新しい取り組みを知ってもらうことができたと思う。

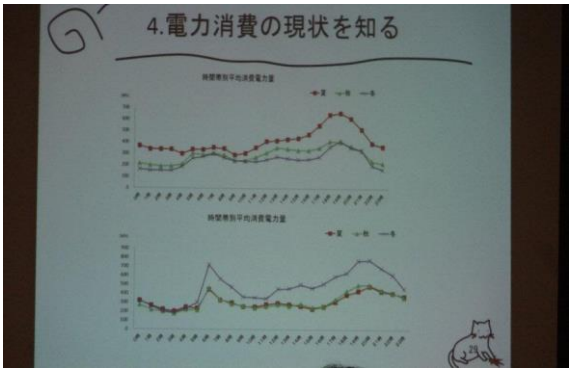
⑨ステップアップ講座（第２回） 電力自由化とかしこい電気の選び方

～電力をお得に利用するにはどんなプランがあるかを知ります～

講　師	大庭みゆき　（株）環境エネルギー総合研究所・代表取締役・工学博士
概　要	電力の自由化が始まる中、「電力の自由化とは」、「上手な選択方法とは」など電力の自由化について学びます。これからの省エネ時代にかしこい電気の選び方、使い方も学びます。
会　場	タワーホール船堀・３０２会議室
対象者	一般
日　時	平成２８年９月３日（土）１４：００～１５:３０
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

４月にスタートした電力自由化に伴い、電力自由化の目的、歴史、仕組み、経済的効果などを聞き、数ある電気小売業者の中から、どのような観点、ポイントで電気小売業者を決めたらよいかを学んだ。参加者からは、参考になった、業者を決めるときの観点は理解できた、との意見も多かったが、どの程度のメリットが有るかまだ分からないとの人もいた。電力料金削減、各種ポイント取得などのメリットにとらわれず、環境負荷減らす電力供給業者の選択をしてもらいたいものだ。



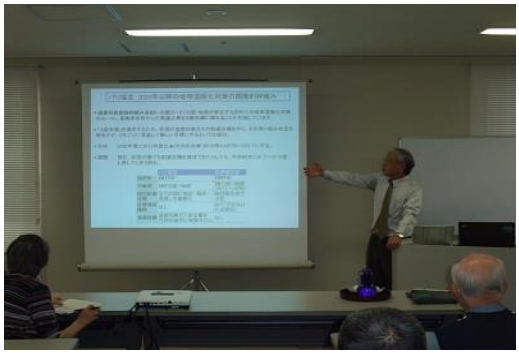


⑩ステップアップ講座（第３回）買い物袋の一生(商品の一生を考える)

～日常のお買い物が全て CO_2 の排出に繋がっていることを学びます～

講　師	水野建樹（社）NPO法人 横浜LCA環境教育研究会理事・工学博士
概　要	化石燃料による二酸化炭素（CO_2）が原因で地球温暖化が進んでいることをきちんと知ってもらい、普段の日常生活で、目に見えないところでも二酸化炭素が出ていることに気づいてもらう。温暖化に対して日常で何ができるか、ライフスタイルについて考えてもらう機会とする。
会　場	タワーホール船堀・３０７会議室
対象者	一般
日　時	平成２８年１１月５日（土）１４：００～１５:３０
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

講座では、前半は地球温暖化の状況、原因などクイズを出しながら参加者にわかりやすく進められ、後半は環境カードゲームをしながら、一つの商品が原材料調達から生産、廃棄されるまでの CO_2 の発生量を学ぶことができた。ワークショップではバスタオルの一生について、どこで CO_2 が発生しているかをブレーンストーミングし模造紙で発表してもらい、あらためて商品の一生でいろんな局面でCO_2が発生していることに気付いてもらった。



⑪ステップアップ講座（第４回）Ｅｄｏｇａｗａごみダイエットに挑戦

～江戸川区のごみ減らす工夫について学びます～

講　師	岡﨑由紀夫（江戸川区・環境部・清掃課・課長）
概　要	江戸川区のごみを減らす工夫「Edogawaごみダイエットプラン」の取り組みについてお話を聞き、参加者が３Ｒを意識したライフスタイルへの見直しについて話し合い 、いろいろな取り組みがあることを知り今後の生活に活かす。
会　場	タワーホール船堀・３０７会議室
対象者	一般
日　時	平成２８年１１月１９日（土）１４：００～１５：３０
主　催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

区全体の目標としている平成33年度に平成12年度比ごみ量２０％削減に向けて、一人ひとりが主役となり３Ｒを進めていくことの必要性について理解を深めた。ワークショップでは、ごみ減量の取組みについて活発な意見が出て今後の生活に活かす機会を与えることができた。参加者からは、思っていたより分別の違いがあることに気づいたので、今後は気をつけたい、ワークショップでは、いろいろな考えやアイデアを聞くことができ楽しい時間を過ごすことが出来たとの意見があった。

⑫リーダー仲間づくり講座 レッツ・エコデビュー（第１～４回）

講師	大和地弘一（環境カウンセラー）、水上泰輔（環境カウンセラー）
概要	環境問題への思いを実現させてみたい方、参加者同士の仲間や場づくりの輪を広げたい方へ、活動するための実践ノウハウを学びます。 第１日目：地球温暖化と異常気象、エコセンター紹介、コミュニケーションのイロハ 第２日目：エコについてグループで話し合おう＆発表 第３日目：活動している人たちとの話し合い＆修了式・先輩との交流会 第４回目：エコ活動イベントへの参加・体験（松江大通り商店街3りんしゃｸﾞﾗﾝﾌﾟﾘ）
会場	タワーホール船堀・３０１会議室、産業振興センター、松江大通り商店街
対象者	一般
日時	第１回：中止 第２回：中止 第３回：中止 第４回：中止
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

昨年度は、全講座（４回）の内一部参加できる方に留まり厳しい結果であったが、今年度も申込み者は１名となったため、残念でしたが中止とした。

おきがる環境座は受託事業として、特に“リーダー仲間づくり講座は”エコセンターで活動する人材育成として位置付けており、継続して検討を進め参加者増につなげて行く。

① 募集方法

対象者を一般区民にプラスして他の団体（江戸川総合人生大学、コープみらい等）に呼びかけを行い受講者を増やすことを進める。

総合人生大学には、共通基礎科目、“地球環境を考える身近な活動”を受講している学生を中心に働きかけていく。特に、２年目の社会体験活動の習得単位に”リーダー仲間づくり講座”を受講すれば取得できることが学生に知られていないので、積極的に呼び掛けて行く。

②講座名

“リーダー仲間づくり講座”では、ネーミングが参加しずらい印象がある等の意見があり、例えばリーダーを外し”仲間づくり講座”とする等、親しみやすいネーミングを継続検討する。

Ｈ２８年度「おきがる環境講座」受講者数

NO.	区分	講座名		受講者数
1	オープニング講演会	「大規模災害から身を守るために」 ～熊本地震から学ぶ災害への備え～		７６
2	基礎講座	第１回	親子で海と地球のふしぎにふれてみよう	２４
3		第２回	親子で原っぱの生きものをさがそう探検隊	２１
4		第３回	花王すみだ事業所見学会	１６
5		第４回	深刻化する異常気象	２４
6		第５回	親子で太陽光発電の下でサツマイモ掘り	１７
7		第６回	環境問題の今	１１
8	ステップアップ講座	第１回	親子で都市型菜園を体験しよう	１２
9		第２回	電力自由化とかしこい電気の選び方	２３
10		第３回	買い物袋の一生（商品の一生を考える）	１０
11		第４回	Edogawa　ごみダイエットに挑戦	１２
12	リーダー仲間づくり講座	第１回	地球環境と異常気象・エコセンター紹介・ コミュニケーションのイロハ	―
		第２回	エコについてグループで話し合おう＆発表	
		第３回	活動している人たちとの話し合い＆修了式と 先輩との交流会	
		第４回	エコ活動イベントへの参加・体験 （松江大通り商店街３りんしゃグランプリ）	―
計				２４６

発行：特定非営利活動法人えどがわエコセンター

編集＆運営団体：イノシシ倶楽部

〒134-0091　江戸川区 船堀 4-1-1　タワーホール船堀 3階
ＴＥＬ：03-5659-1651　ＦＡＸ：03-5659-1677
Ｅメール-：edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp
ホームページ：http://www.edogawa-ecocenter.jp/